

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価結果

対象:放課後等デイサービス職員6名

回収 6名

R6.3.8

	チェック項目	評価			改善目標、工夫点など
		はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		・基準は満たしているが、手狭さを感じる ・更に1室拡張を計画し、工事を実施
	② 職員 の配置数は適切であるか	3	3		・有資格者2名+1名の配置を行っている ・基準の配置はしているが、年度途中の退職者が続いた
	③ 事業所の 設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			・身体的な障害には対応しているが、自閉症支援に関しては工夫をしながら対応している
業務改善	④ 業務改善を進めるた の PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			・主に常勤職員で会議を行いながら、その他の職員からの意見も反映させている
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		・保護者への自己評価以外のアンケートは行っていないが、保護者からの意見は利用者支援に反映させている
	⑥ この自己評価結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・令和2年度3年度の自己評価結果は法人ホームページで公表している
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	・第三者による評価は未実施
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・専門家による職員向け研修を年間通して定期的に実施中、職員全員参加としている
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・必要な場合にその都度アセスメントを実施し、支援計画へ反映させている
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			決められた様式と手順でアセスメントをとっている
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		・職員間の話しあいで方向性などを検討し、計画している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・各利用者の支援計画に沿って実施、モニタリングの際の達成状況に合わせ、自立課題の更新等取り組んでいる。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		・各利用者の支援計画に沿った内容で設定し、活動に取り入れている
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		個別化を図りながら、計画を実施している
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	5	1		・朝礼にて昨日の振り返りと、当日の活動内容や役割分担など確認している
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし その日行われた支援の振り返りをい、気付いた点等を共有しているか		6		・日々の振り返りは翌日の朝礼で実施、支援終了後は当日に処理の必要な場合のみ実施している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・個別支援計画にそった支援が出来ているか意識し、日々の行動が分析できるような記録をとり、記録の重要性を再認識する。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・定期的なモニタリングの実施で達成状況を確認し、それによって支援計画の見直しを行っている。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	2			
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			・関係者会議等には児童発達支援管理責任者及びケース担当者が参加している。	

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			・学校送迎時の児童の体調確認等必ず引継ぎを受けている。また、支援の協力や情報提供は適宜実施している。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・現在医療的ケアの必要な子どもの受入れはない
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4	2	・相談支援専門員から情報提供を受け、利用開始前アセスメントを実施して受入れを行っている
	㉓	子校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等情報を提供しているか	6			・実施済み
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			・専門家による研修実施や支援に関して助言を受ける機会は設けており、今後も専門機関との連携の取り組んでいく。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	利用者、家族ともにニーズがない
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			6	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	6			・連絡帳を活用、また、自宅への送迎時に報告をおこなっている。必要な場合は電話連絡で情報の共有を図る。
	㉘	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・ニング等の支援を行っているか		6		・ペアレントトレーニングまでとはいかないが、ツールの共有等を実施、また、可能な限りの相談への助言は行っている。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・契約の際に、必ず説明を実施、必要な場合はその都度説明を行う。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・必要に応じて対応している。
	㉛	父母の会活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携支援しているか		5	1	・現状として保護者のニーズが薄く、保護者同士の連携支援には至っていない
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・体制は整えており、苦情の場合は速やかに対応する。 ・苦情ではないが、対応について気をつける点については迅速に対応している。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や、行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			6	・今までのところ取り組めていないが、今後は活動内容等の情報発信に努める。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	6			
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしているか	6			
	㊀	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	3	・法人全体では地域交流の取り組みは行っている。
非常時等の対応	㊁	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		6		・マニュアルは整備されているが、保護者への周知については未実施。
	㊂	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・年2回の火災による消防避難訓練と、地震によるシェイクアウト訓練を実施している。
	㊃	虐待を防止するため、職員の研修機会確保等、適切な対応をしているか	6			・法人全体で人権研修を実施している
	㊄	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			・身体拘束に関してのマニュアルを策定、必要な場合はそれにそって対応するが、今までの支援で身体拘束の状況はなかった。
	㊅	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				・現在アレルギーの児童はいないが、利用の場合はアレルギー対応を行う。
	㊆	ヒヤリハット事例集を作成して業所内で共有しているか	6			・事故・ヒヤリのレベル別一覧表作成、随時更新し各職員が確認しやすい方法で共有している。また、実際の事故・ヒヤリについては報告書を回覧し、対応策も含め再発防止のために周知をしている。

保護者向け 放課後等デイサービス自己評価結果

対象:放課後等デイサービス利用者保護者13名

回収 13名

R6.3.8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未解答	意見など	ご意見をふまえた対応等
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13					・個々の利用者の活動の状況に合わせ、安全なスペースを確保するように環境の改善に努めています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	3			今年度退職者が2名となったことを受けて、「長く出来る方が増えるといいと思う」	・2月から児童指導員の加配が出来なくなったが、次年度より資格者の人材確保に努めます。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1				・建物自体バリアフリー構造になっています。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	13					モニタリングでは保護者との話し合いを十分に行い、支援計画を作成します。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13					
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	7	4	1	・分からない ・特に求めている ・交流を希望していない ・必要を感じていない	・法人として地域交流は行いますが、現在の時点では交流や活動する機会は設けていません
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13					
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13					
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13					
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の連携が支援されているか	4	6	3		・希望していない ・必要を感じない	・昨年度「障害特性の理解」についての勉強会を開催しましたが、今年度は日程が合わず開催には至りませんでした。次年度は計画を実施していきたいと思っています
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2				・体制は整えており、苦情の場合は速やかに対応します。 ・苦情としては上がっていませんが、対応については気をつける点については迅速に対応しています。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13					
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	4				HPや会報誌等で活動内容等の情報の発信に努めます。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	12	1				
非常に	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	4				・モニタリング時などの機会を利用し、今後行っていきます。

時等の対応	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	10	3			・わからない	・今年度は、火災による消防避難訓練(6月、1月)と、地震による避難訓練(3月)を実施しました。
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	13					
満足度	⑱	事業所の支援に満足しているか	12	1			・子どもの興味のあることやこだわりをすぐに活動に取り入れてくれる	